

令和8年6月12日

監 査 報 告 書

箕面市地域公共交通活性化協議会
会 長 竹 内 優 介 様

箕面市地域公共交通活性化協議会

監 事 山 口 裕

監 事 渡 部 真 衣 子

令和8年6月12日、箕面市立市民会館において、令和7年度箕面市地域公共交通活性化協議会の収支決算書及び関係書類等を監査したところ、監査に付された決算、書類等は正確でありましたので報告します。

なお、監査の結果、下記のとおり監査意見を附します。

記

〈現状分析〉

1. 事業の支出内訳としては、バスの運行経費が約90.9%を占めており、年間経費としては約188百万円（前年度比106.8%）を要している。
2. 運行経費にしめる運賃収入の割合は約37.6%で、残りの負担は介護保険事業補助金が約29.2%、市の負担は約33.1%、協賛金としてネーミングライツ料が0.1%となっている。

〈意 見〉

1. 北大阪急行線の延伸に伴うバス路線再編の一環として、オレンジゆずるバスは2年間の実証運行を経て、令和8年4月から本格運行へ移行した。
この間、利用者数及び運賃収入は増加したものの、バス運転士の待遇改善による人件費の上昇等により、運行経費が大きく増加した影響で収支率は下降傾向にある。
2. 現在は本格運行として運行しているものの、オレンジゆずるバスが将来にわたり箕面市に根付く持続可能な公共交通となれるように、令和8年度への繰越金（12百万円）を活用し、より一層の利用促進に取り組む必要がある。利用促進にあたっては、これまでも実施してきた公共交通に関する勉強会や、昨年度から実施している小学生を対象とした無料乗車イベントの開催など、より多くの世代への利用促進を実施することにより、収支改善に加え、持続可能な公共交通の土壌を醸成していく必要がある。

以上